

各 位

News Release

「公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団」

令和6年度

地域の伝統文化分野 助成対象先を決定

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団（1991年6月設立・理事長関口憲一）では、地域の伝統文化（民俗芸能および民俗技術）の継承、特に後継者の育成を支援するため、昨年10月から令和6年度『地域の伝統文化保存維持費用助成』制度の助成対象候補を公募してまいりました。このたび応募145件の選考を終えて61件の助成対象を決定し、助成金目録の贈呈を行なうこととなりましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本年度の決定を含めた本制度による助成件数の累計は、当財団設立以来1,461件になります。

【お問い合わせ先】

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団

〒163-0633

東京都新宿区西新宿1-25-1

新宿センタービル33階

TEL. 03-3349-6194

FAX. 03-3345-6388

記

1. 公募方法と公募期間

都道府県の教育委員会または知事部局の担当課を推薦窓口とする要推薦制度の公募を、令和5年10月から令和6年1月31日まで行い、145件の申込を受付けた。

2. 助成対象

- (1) 地域の民俗芸能（民俗行事・民俗音楽を含む）の継承、特に後継者育成のための助成。
- (2) 地域の民俗技術（伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む）の継承、特に後継者育成のための助成。

3. 助成対象者の決定

選考委員会における選考審査（2月22日）を経た後、理事会の承認を得て決定。

【伝統文化分野選考委員】（敬称略）

委員長	小島美子	国立歴史民俗博物館名誉教授
委員	神野善治	武蔵野美術大学名誉教授
〃	田中宣一	成城大学名誉教授
〃	西角井正大	前日本民族芸能協会会長
〃	星野紘	全日本郷土芸能協会理事長
〃	茂木栄	國學院大學名誉教授
〃	山内彰	当財団元理事

4. 助成決定件数・助成金額

(1) 令和6年度 部門区分別 助成決定件数・金額

部門	申込件数	決定件数	助成金額
民俗芸能	139件	57件	2,061万円
民俗技術	6件	4件	139万円
合計	145件	61件	2,200万円

(注) 都道府県別の助成対象および金額等は、3頁～8頁(民俗芸能の部および民俗技術の部)をご参照願います。

(2) [ご参考] 助成件数・金額の推移 (金額単位: 万円)

年度	民俗芸能		民俗技術		合 計	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
平成3年	24	1,717	5	229	29	1,946
4年	29	1,960	5	190	34	2,150
5年	30	1,958	5	200	35	2,158
6年	34	2,060	6	240	40	2,300
7年	38	2,310	5	190	43	2,500
8年	41	2,550	6	250	47	2,800
9年	41	2,670	6	230	47	2,900
10年	43	2,800	4	140	47	2,940
11年	44	2,845	4	155	48	3,000
12年	43	2,740	6	260	49	3,000
13年	42	2,740	8	260	50	3,000
14年	38	2,590	10	410	48	3,000
15年	33	1,590	2	60	35	1,650
16年	31	1,525	5	125	36	1,650
17年	37	1,650	0	0	37	1,650
18年	35	1,666	2	80	37	1,746
19年	37	1,780	2	70	39	1,850
20年	39	1,810	1	40	40	1,850
21年	38	1,740	4	110	42	1,850
22年	39	1,735	3	115	42	1,850
23年	41	1,814	1	36	42	1,850
24年	48	2,122	6	185	54	2,307
25年	40	1,775	2	75	42	1,850
26年	41	1,802	3	98	44	1,900
27年	40	1,746	4	104	44	1,850
28年	41	1,800	2	50	43	1,850
29年	42	1,811	1	39	43	1,850
30年	41	1,775	2	75	43	1,850
令和元年	39	1,736	3	114	42	1,850
2年	39	1,740	3	110	42	1,850
3年	42	1,813	1	37	43	1,850
4年	43	1,820	2	80	45	1,900
5年	47	2,075	1	25	48	2,100
6年	57	2,061	4	139	61	2,200
合計	1,337	68,326	124	4,521	1,461	72,847

5. 助成金目録の贈呈

第一次推薦者（市町村教育委員会等）の庁舎、もしくは最寄りの明治安田生命支社において贈呈式を行う予定。

令和6年度 地域の伝統文化 助成対象

(敬称略)

1. 民俗芸能の部 (民俗行事・民俗音楽を含む)

57件 2,061万円

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
北海道	モウライシマホゾノカイ 望来獅子舞保存会	60	S5年の望来神社新築の際、富山県砺波出身者が郷土の獅子舞を再現。太鼓・笛に合わせ獅子と獅子取り(刀4種・鎖鎌・長刀・棒)で演舞。93年間絶えず継承。伝承元の砺波獅子舞はS38年頃途絶。
	望来獅子舞		用具購入費
青森県	コウワラカゲラネチュウホゾノカイ 小川原神楽連中保存会	50	S26年850年の伝統を誇る三沢市の岡三沢神楽より伝承。後継者不足で一時中断、S50年保存会結成し復活。県内では希少な五拍子の舞。舞中で拍子が2,3度変化する舞や、「稲刈り舞」の演目を保有。
	小川原の神楽		衣装購入費
青森県	ウシノシロイモノケミ 牛滝若者組	50	牛滝神明宮春祭・盆祭に奉納。併せて地区平穏・家内安全を祈願し門付けも挙行。獅子の鼻先や脇にササウ振りが付く。流暢典雅な演奏で舞も流動的。海の日は大漁を祈願。
	牛滝神楽		衣装購入費
岩手県	ムカバワラマイ 向川原虎舞	20	S23年青年会が和藤内を習い創始。数年後釜石から踊り・囃子を教わり2人立ち虎舞を確立。震災で中断、避難所慰問を機に復活。大槌まつり奉納の他、町芸能祭・郷土芸能かがり火の舞等に出演。
	向川原虎舞		化粧まわし購入費
岩手県	ナミタガイカグラホゾノカイ 浪板大神楽保存会	40	江戸後期創始とされる権現舞。悪魔祓い・泰平の世を祈願。地元3社の春・夏・秋祭に奉納。奉納後、神輿の御旅所・家の玄関先で演舞。演目は通り・庭・戻り・甚句の4種。勇壮な踊りが特徴。
	浪板大神楽		道具購入費(音響設備を除く)
宮城県	キタミチヨウウカガワホソイカグラホゾノカイ 北上町女川法印神楽保存会	50	古くから北上川下流地域に伝わる浜神楽。M40年神楽団結成。一時衰退。S42年7人で保存会結成し復活。5演目継承。保呂羽神社等に奉納。地域行事にも出演。四方切り・九曜寅等の踏込み、サイを切る動作が特徴。
	北上町女川法印神楽		神楽面購入費
秋田県	シマチワカモノカイ 新町若者会	35	江戸末期から花輪に伝わる七夕行事。高さ5mの絵灯籠と高さ2mの大太鼓を載せた台車10台が町内を巡行。最終日に稲村橋上に整列し灯籠に火を放つ「眠り流し」は圧巻。太鼓の腕前や武者絵の出来を競う。
	花輪ねふた		大太鼓修繕費
山形県	ヤマイカワコテンゲイノウホゾノカイ 山五十川古典芸能保存会	50	平安期創始の山戸能と江戸中期創始の山五十川歌舞伎の二つを継承。河内神社の春秋祭に奉納。S39年地区全戸加入の保存会結成。特に山戸能の「座揃囃子」「恋慕の舞」は全国的にも稀少。
	山戸能・山五十川歌舞伎		衣装購入費
福島県	スズミガカハチマンジシヤカグラ 涼ヶ岡八幡神社神楽保存会	40	江戸期から雷神社春秋祭に五穀豊穰・収穫感謝で奉納する21の獅子神楽の一つ。早魅や飢饉時にも演舞。4演目継承。祭礼時には毎回8組以上が競って舞を披露。社殿前に舞台を組立てて舞う。
	涼ヶ岡八幡神社の神楽		神楽舞台新造工事費
福島県	フクダジユウニカグラホゾノカイ 福田十二神楽保存会	40	江戸末期に隣接の丸森町竹谷から学んだ十二神楽。県内唯一の法印神楽。演目は12座。諏訪神社春秋祭に少年が演舞。演目に春日舞・獅子舞を持ち、色鮮やかな袖の上衣に白頭巾か白鉢巻で舞うのが特徴。
	相馬福田の十二神楽		道具・衣装購入費
福島県	ヤグモジシヤ 八雲神社	18	浜通りに広く行われる浜下り神事。八雲神社夏祭に本殿で祝詞を上げ、神様を神輿に移し、青年団が河口の浜で神輿を清め還御。町内4神社で唯一、白装束と烏帽子姿の古形を維持。震災後中断、R元年復活。
	浜通りの御浜下り		衣装購入費

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
茨城県	ハハヒョットコハシホゾンカイ 小幡ひよっこ囃子保存会	50	戦国期に小幡城主が愛宕神社祭礼に奉納したのが創始。S元年保存会結成。長胴・小太鼓・笛・鉦の演奏できつね・おかめ・ひよっこが舞う。草刈する農民の様子等の「物語式」演目が特徴。
	小幡ひよっこ囃子		道具整備費
栃木県	セキヤコトモハヤシホゾンカイ 関谷子供囃子保存会	35	江戸末期に東照宮の宮大工が伝えた神田流囃子。八坂神社夏祭に奉納。火災で屋台・太鼓を焼失。S25年復活。8演目を9台の太鼓中心に演奏。大人の保存会と子供囃子の2団体で継承。
	関谷囃子		用具整備費(法被は除く)
群馬県	チヨダヤギブシホゾンカイ 千代田八木節保存会	12	例幣使街道沿いの木崎宿から伝わった八木節。150年続く水難者供養の「赤岩の川施餓鬼」の人集めとして八木節大会で披露。旧永楽村青年団が継承,S47年保存会結成。光恩寺秋祭や町文化祭にも出演。
	八木節		道具購入費
埼玉県	ニシオウシマハシホゾンカイ 西大輪獅子舞保存会	40	江戸中期創始の1人立ち3匹獅子舞。7月25日に近い日曜に村回りしながら神社6社・公園で披露。篠笛に合わせ腰の太鼓を打ち踊る。人生を旅に例えた「女獅子隠し」、夫婦愛・家族愛を示す「橋渡し」が特徴。
	西大輪の獅子舞		衣装購入費
千葉県	ミヤコウスワジシヤハシカイ 都町諏訪神社囃子会	40	江戸期から諏訪神社に奉納していた葛西囃子系の囃子。一時中断,S57年保存会結成し復活。笛1・締太鼓2・大太鼓1・鉦1の五人囃子。仁羽1曲を繰返し演奏し巡行。同じ作草部神社神楽連に師事した2団体と連携。
	諏訪神社の囃子		衣装購入費
東京都	スギキヤシホゾンカイ 鈴木ばやし保存会	37	江戸末期に鈴木新田の有力者が若者の健全娯楽として奨励。江戸里神楽特有の笛1・締太鼓2・大太鼓1・鉦1の五人囃子。囃子に合わせ獅子舞・狐・狸・おかめ・がんにやが演舞。神社祭礼等に不可欠な存在。
	鈴木ばやし		道具整備費
神奈川県	カハダイヤシレン 若葉台囃子連	40	江戸末期創始の川尻八幡宮祭囃子をH11年向原囃子連から学び発足。城山地区で神田流を継承する3団体の一つ。締太鼓2・大胴1・摺鉦1・笛1・舞数人で構成。7演目保有。城山夏まつりで披露。
	川尻八幡宮祭囃子		道具購入費
福井県	ウセシヤシヤシゲイウホゾンカイ 宇波西神社神事芸能保存会	50	中世期から宇波西神社春祭に豊漁・豊作・国の平安を願い王の舞・獅子舞・田楽を奉納。主役の王の舞は4集落が交替で奉仕。袴姿の警固に守られた鼻高面が鉦を手に笛・太鼓に合わせ演舞。
	宇波西神社の神事芸能		道具購入費
長野県	シヤカケヲホゾンカイ 伺去神楽保存会	30	江戸期から伺去神社秋祭に五穀豊穰・天下泰平を祈願し奉納してきた五分一流神楽。地区内も巡行。H26年保存会に衣替。近隣2団地の依頼にも対応。市主催獅子舞フェスティバルに初回から7年連続参加。
	伺去神楽		道具修繕費
長野県	セハラタダイヤカケヲホゾンカイ 瀬原田太々神楽保存会	20	江戸期に伊勢神宮の御師が伝えた獅子舞。布制神社春秋祭に悪魔払いと五穀豊穰等を願い奉納。度々中断,H22年保存会結成し再開。長野市獅子舞フェスティバルにも参加。近隣地区が途絶え、唯一獅子舞を継承。
	瀬原田太々神楽		道具整備費
長野県	カワナカママチヨツヤクナカシマカケヲホゾ 川中島町四ツ屋区 中島 神楽保存会	25	江戸中期から四ツ屋伊勢社秋祭に五穀豊穰等を願い奉納してきた伊勢系神楽。幌舞・御幣舞で構成。30年間中断,野池神楽保存会に学びS60年復活。笛・太鼓・唄・舞が四位一体で女獅子が優雅に舞う。
	中島神楽		道具修繕費
岐阜県	シヤマダシヤシマハシホゾンカイ 白山比咩神社獅子舞保存会	18	江戸初期創始男獅子に江戸中期に嫁獅子が加わった獅子舞。白山比咩神社秋祭に奉納。御旅所内の芝居小屋で演ずる獅子芝居は大正期創始で6演目継承。雌獅子が主役で歌舞伎演目を上演するのが稀少。
	下手向の獅子芝居		道具整備費

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
愛知県	セキガワイチョウナイカイ 関川一町内会	40	江戸中期に宮道天神社の神官が百遍の台念仏を唱え雨乞したのが起源。神事後、囃子車3台と歌舞伎行列の先導により神輿が旧赤坂宿を巡行。囃子は3曲継承。花魁・武士・かむろに扮した華やかな衣装が圧巻。
	宮道天神社例大祭		衣装購入費
愛知県	バンバクサレイホリノキョウキカイ 馬場区祭礼保存協議会	30	T15年から武雄神社春祭に山車を奉納。伊勢湾台風被害で22年間中断、S56年復活。平太鼓1・長胴太鼓1・小太鼓4・小鼓5・大鼓2で構成。山車曳行中は神楽を演奏、神社では神楽囃子を奉納。15曲継承。
	長尾地区祭礼長北車奉納		道具整備費
三重県	ツツカハマチウジノオトリホリノカイ 津市分部町唐人踊保存会	40	江戸前期に津八幡宮秋祭の出し物として唐人のものまね行列から始まった唐人踊。戦火で衣装・道具を消失、S31年保存会結成し復活。2日間で約400回踊りを披露。山車は使わず路地伝いに巡るのが特徴。
	分部町の唐人踊		衣装・道具購入費
三重県	カミョウジノカイ 鹿海町自治会	40	江戸中期に伊勢古市の遊郭から各地に伝播した盆踊。昭和中期に衰退、今は河崎・鹿海・朝熊の3町のみ。一番と二番の節回しが異なり、4曲を口承。伊勢音頭や郡上踊りの中の「かわさき」の伝承元。
	鹿海町の河崎音頭		記録保存動画作成費
滋賀県	ダイジュウロクジノカイ 第16区自治会	40	日傘禮八幡宮の氏子12郷が五穀豊穡・地域発展を願い4月中旬に行う松明祭り。宵宮に大小200本の松明を一斉に点火し奉納。本祭では若衆が大太鼓を担ぎ宮入。千数百年の歴史ある行事。
	近江八幡の火まつり(松明祭)		道具修繕費
京都府	センボンエンマウタノイブツツキョウケン 千本ゑんま堂大念佛狂言保存会	40	平安中期に定覚上人が布教のため大念佛会を始めたことが起源。室町期に盛行。戦後中断。S50年保存会結成し復活。京都三大念佛狂言の一つで、着面で演技し演目にセルフがあるのが独特。
	千本ゑんま堂大念佛狂言		面製作費
京都府	ハツヒョウイロホリノカイ 初土俵入保存会	40	江戸中期創始の幼児の通過儀礼。杉末神社秋祭に華麗な化粧廻し姿の幼児が見えない神と相撲対戦。幼児同士が競う泣き相撲でなく、神に負けて健康を授かるという形態は希少。会所有のまわしを貸与。
	赤ちゃん初土俵入		衣装購入費
大阪府	タイョウチョウナイカイ 太町町内会	30	江戸期以前から聖神社秋祭に五穀豊穡・地域安寧を祈念し9町会がだんじりを奉納。祭2日目に聖神社から神輿を担ぎ信太・幸地区全町をまわるため、市内で唯一3日間かけて開催。
	聖神社秋祭り(太町だんじり)		道具修繕費
大阪府	ハビキノシヨウダニシノグチョウカイ 羽曳野市誉田西之口町会	30	毎年誉田八幡宮秋祭に無病息災・五穀豊穡を願い4台のだんじりが宮入。河内名所図会の記述から江戸初期には実施済と推定。
	誉田八幡宮秋祭り(だんじり)		道具修繕費
大阪府	ジネダダインジノカイヒカシノミ 自然田第三自治会 東組	11	江戸後期に始まったやぐら祭。波太神社秋祭に五穀豊穡・大漁を祈願し太鼓臺と神輿を渡御。笛・太鼓に合わせ地区内を巡行。2輪のコマがついた「やぐら」祭りを担う阪南市内20団体の一つ。
	波太神社祭礼(太鼓台)		道具購入費
大阪府	フクマチナカジケルマカイ 福町中地車会	30	河内音頭・江州音頭の歌・踊りに合わせ町内を太鼓台が巡行する盆踊。太鼓台巡行後、会場の高さ5mの檣に吊り上げる。他地区では見られない希少な形態。
	盆踊りの太鼓台		道具修繕費
大阪府	カシヨウジケルマホリノカイ 中庄地車保存会	30	江戸中期から奈加美神社秋祭に五穀豊穡を願い16台のだんじりが宮入。形状は岸和田型の下だんじり。
	奈加美神社秋祭り(だんじり)		道具修繕費

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
大阪府	ホチョウジチカイ 小塩町自治会	30	明治期から烏帽子八幡神社秋祭に五穀豊穰を願い3町のだんじりが宮入。だんじりの後ろを持ち上げ、お辞儀した状態でぐるぐる回す「ぶん回し」の所作を継承。
	烏帽子形八幡神社秋祭(だんじり)		道具修繕費
大阪府	トウサ イカダ エチウアキツリウエイイン 東西片添町秋祭運営委員会	8	昭和初期から赤坂上之上神社秋祭に五穀豊穰を願い6台のだんじりが宮入後、三日市地区内を曳行。
	東西片添町秋祭り(だんじり)		道具修繕費
大阪府	アマダキョウカイ 阿間河滝町会	30	元禄16年(1703)岸和田藩主が京都・伏見稻荷を城内三の丸に勧請、五穀豊穰を祈願した稻荷祭りが岸和田だんじりの起源。高速で辻を回る「やり回し」は昭和期から実施。
	意賀美神社祭礼(だんじり)		道具修繕費
大阪府	ウエマチョウカイ 上町町会	30	元禄16年(1703)岸和田藩主が京都・伏見稻荷を城内三の丸に勧請、五穀豊穰を祈願した稻荷祭りが岸和田だんじりの起源。高速で辻を回る「やり回し」は昭和期から実施。
	岸和田だんじり祭		道具修繕費
大阪府	ニシオビチョウカイ 西大路町会	30	元禄16年(1703)岸和田藩主が京都・伏見稻荷を城内三の丸に勧請、五穀豊穰を祈願した稻荷祭りが岸和田だんじりの起源。高速で辻を回る「やり回し」は昭和期から実施。
	岸和田だんじり祭		道具修繕費
兵庫県	ホクインマンザイボツンカイ 法花寺万歳保存会	10	江戸後期に村民が京都で学んだ万歳を帰郷後門付けしたのが創始。戦争で中断。S24年復活。太夫・才若の2人が三味線に合わせ七五調の詞章を述べ踊りながら掛合。狭い地区単位での万歳の継承は稀有。
	法花寺万歳		道具修繕費
島根県	ユモリカゴラボツンカイ 小森神楽保存会	24	江戸後期創始の出雲神楽。中断、衰退を経てH28年保存会結成し再復活。S50年結成の地元小児童による子供神楽は絶えず継承。神事7種・神農9種を伝承。地区文化祭等で披露。素朴で質素な舞。
	小森神楽		蛇頭購入費
岡山県	ナカダノノチョウカイ 中田上之町魁組神楽保存会	45	江戸前期に上之町が天神社に獅子舞を奉納したのが創始。厄払・五穀豊穰を願い建部郷内8社の神輿が七社八幡宮に参集。勇壮な踊りを繰返した後、高々と差し上げられ、その高さを競う。獅子頭は鼻が長く特徴的。
	建部郷の獅子舞		道具整備費
広島県	アトカワラダン 阿刀神楽団	30	古くから阿刀明神社秋祭に奉納した出雲系神楽。12演目で構成。大太鼓・笛・鉦に合わせ演舞。一時衰退。戦後神楽団・保存会結成し復活。中でも「将軍」は県内2団体のみ継承する貴重な舞。
	阿刀神楽		衣装購入費
山口県	タキカガラマイボツンカイ 滝坂神楽舞保存会	25	江戸中期に大飢饉の厄払祈願に黄幡社に舞を奉納したのが起源。神事舞・狂言舞・神がかり・舞おさめの形式と衣装・詞章が古式を継承。山伏神楽を基本に石州神楽が混入した24演目を保有。
	滝坂神楽		道具購入費
徳島県	アワテヨハコマシボツンカイ 阿波木偶箱まわし保存会	70	江戸期から伝わる正月風俗。箱に入れた木偶人形を操り街中で一人遣いの人形芝居を上演。三番叟まわし他4形態継承。40日間かけて千軒余の民家を訪問する家回りは他に類例がない貴重な文化遺産。
	阿波木偶の箱廻し		阿波木偶製作費
香川県	ヒカシカワラダンジリコトモカゴキボツ 東かがわだんじり子供歌舞伎保存会	40	江戸後期の上演記録がある子供歌舞伎。白鳥神社春祭に奉納。S33年中断。H5年保存会結成し復活。だんじりが狭く演者は小4以下。花道等を整備した移動式舞台で本格的歌舞伎を演ずるのは稀少。
	だんじり子供歌舞伎		道具・衣装購入費

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
愛媛県	アカジロウシホホノカイ(スイギユカイ) 赤網代牛鬼保存会(酔牛鬼会)	45	明治初期に宇和島から伝わった牛鬼。三島神社秋祭に奉納後、大小2体の牛鬼が巡行。大牛鬼は青竹・藁の土台に棕櫚製の着物を装着。重さ600kgを人力で9km担ぎ通すのが独特。小牛鬼が前後に随行。
	赤網代の牛鬼巡行		牛鬼面修繕費
高知県	ミシマジンジャ 三島神社	40	江戸中期から三島神社秋祭に五穀豊穰・地域安寧を祈り神輿渡御を継承。前後に58から成る多くの役が随行。花取踊りが御旅所まで600m先導する一大行列は希少。古式の祭儀形態を伝える貴重な文化財。
	三島神社のおなばれ		道具購入費
福岡県	コノヤセユカバオトリシコウホノカイ 木屋瀬宿場踊振興保存会	38	江戸中期、伊勢音頭に長崎街道を往来する大名行列の供奴の仕草や掛声を取入れ創始。初盆供養が目的ながら、三度笠・提灯等の華かな衣装や舞台装置が特徴。11月第1日曜に街道沿いを巡行。
	木屋瀬盆踊(宿場踊)		衣装購入費
福岡県	クスバルトリホノカイ 楠原踊保存会	40	16世紀初頭、甲宗神社の宮司が公家に作を乞い創始した雨乞踊。一時中断、S55年復活。地謡・笛・締太鼓・大太鼓・摺鉦を演奏、口上・謡いと静かに歩行。仕舞に似た所作は優雅で、中世の名残あり。
	楠原踊(みのり踊)		道具購入費
佐賀県	エフクアヤカケネリュウホノカイ 江福綾竹鉦浮立保存会	40	明治期から行われる鉦浮立。鎮守神社秋祭に五穀豊穰を祈願し奉納。竹筒に小豆を入れた綾竹を手に持ち踊る「綾竹踊」が付随。市・県芸能祭や祝事でも披露。
	江福綾竹浮立		衣装購入費
長崎県	トケイエイリカトウホウジンナガサキヤ 特定非営利活動法人 長崎流鏝馬保存会	50	戦国後期に創始された流鏝馬神事。江戸初期創始の長崎くんちの中で諏訪神社秋祭に奉納。安政の大火で消滅、156年を経て、H25年復活。祭礼初日に境内中庭で奉納。短い馬場で演ずるには高い技術が必要。
	長崎くんちの流鏝馬神事		衣装・道具整備費
熊本県	スモトマキョウトゲイノホノカイ 栖本町郷土芸能保存会	45	江戸後期から諏訪神社・河内神社秋祭に五穀豊穰・無病息災を祈願し奉納される太鼓踊り。3舞継承。両社の祭礼には挟み箱・羽熊・鳥毛・獅子舞・立傘台笠で構成する神幸行列も施行。
	栖本太鼓踊り		道具整備費
宮崎県	ムカマチヨイマカホノカイ 六日町ヨイマカ保存会	30	江戸中期、当地の豪商が大阪の布団太鼓を元に創始。本庄稲荷神社夏祭で神輿が神社から大將軍神社の間を往復。太鼓台(ヨイマカ)上で4人の稚児が太鼓演奏。歌舞伎人形も登場。ヨイマカと神輿のせめぎ合いが圧巻。
	六日町ヨイマカ		道具整備費
鹿児島県	タキョウタイロトトリホノカイ 高城町太鼓踊り保存会	40	江戸初期領主の遺徳をしのび高城神社を創建し舞楽を奉納したのが起源。戦中中断。S34年保存会結成し復活。鉦の合図で列や輪を作り太鼓を打ち演舞。鬼神2人・鬼神取り2人が楽に合わせ踊るのが独特。
	高城町太鼓踊り		道具購入費
沖縄県	オキナワケントミクシアサダカヤスジチカイ 沖縄県豊見城市字高安自治会	70	250～300年前に始まった伝統行事。12年に1度辰年の旧暦8月8日に竈に宿る魂を鎮魂。棒術・奉納舞踏を施行。火葬普及により当地のみに存在する貴重な行事。R6年が開催年。
	竈ゴウ祭		道具整備費

2. 民俗技術の部（伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む） 4件 139万円

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人		助成目的
	民俗文化財の名称		
岐阜県	ウトウシャクシホゾンカイ	25	<p>有道しゃくし製作技術を継承。明治期に盛行。S42年地区全戸離村に伴い衰退。H13年保存会結成し復活。継ぎ目がない1本の丸太で作るため丈夫なのが特徴。調理器具にも優しい天然素材。</p> <p>道具購入費</p>
	有道しゃくし保存会		
	有道しゃくし		
岐阜県	カカミ シュウセイ	40	<p>江戸初期に確立していた樽(くれ)へぎ技術。丸太を手道具で割り剥いた薄板を重ね葺き屋根を形成。20年毎に葺き替えが必要。木目が通り耐久性大。5種類の道具を使用。中でもマンリキは飛騨地方独特の道具。</p> <p>道具製作費</p>
	川上 舟晴氏		
	高山の樽へぎ技術		
滋賀県	アライ エリコシ	34	<p>イタヤカエデ・モミジの若木を薄く剥ぎヒゴを編み作る小原かごの生産技術を継承。四角状の底から螺旋に立上げる編み方が特徴。荒井氏はH30年から伝承講座で学び、小売店実演・大学での講演等活動中。</p> <p>材料費</p>
	荒井 恵梨子氏		
	小原かごの生産技術		
兵庫県	〈ヤギ〉ジブントウ	40	<p>平安初期に当地で確立した柳のかご細工技術。機能性と実用性を兼備した柳行李が代表作。江戸期に専売制確立、明治・大正期に盛行。戦後衰退。限られた職人により継承。企業・団体と連携。</p> <p>道具購入・材料費</p>
	〈柳〉自分堂		
	豊岡杞柳細工		

【ご参考】「重要有形民俗文化財の指定等」に定められた助成先

令和6年1月に文部科学省(文化庁)が新たに重要有形民俗文化財の指定等に指定した5件のうち下記の2件2団体が、当財団がこれまでに行なった助成先から該当いたしました。

保存継承に関わってこられた地元関係者の皆様のお喜びは勿論ですが、当財団にとりましても、今年も引き続き助成先から選ばれた事はたいへん嬉しいニュースです。

【重要有形民俗文化財の指定】

区分	決定年月	文化財名称	保存団体	地域	助成年度
国指定	2024年1月	天明鋳物	天明鋳物伝承保存会	栃木県佐野市	2012年

【重要無形民俗文化財の指定】

区分	決定年月	文化財名称	保存団体	地域	助成年度
国指定	2024年1月	小豆島 農村歌舞伎	肥土山農村歌舞伎保存会	香川県 小豆郡土庄町	2004年

以上

財団案内

財団の目的

明治安田クオリティオブライフ文化財団(理事長:関口憲一)は、音楽における人材育成ならびに地域の伝統文化の保存維持、および後継者育成に対する助成等を行い、もって国民生活の質的向上ならびにわが国文化の発展に寄与することを目的としています。

【財団の概要】

名 称	公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団 The MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION
設 立	平成3年(1991年)6月10日
主務官庁	内閣府
基本財産	14億6,250万円(2023年9月末日現在)
事業内容	・音楽分野における若手芸術家の人材育成に対する助成 ・民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成 ・芸術文化活動に関する調査研究、出版物の刊行
事業計画	○クラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に対する助成 ・海外における音楽研修に対する助成 ・国内音楽学生に対する奨学援助 ○民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成 ・地域の民俗芸能(含、民俗行事、民俗音楽)の保存維持、後継者育成のための助成 ・地域の民俗技術(含、伝統的製作技術、衣食住に関わる生活技術、伝統工芸)の保存維持、後継者育成のための助成
事業成果	これまでの累計助成状況(令和6年3月現在) ・音楽分野 593人 10億2,530万円 ・伝統文化分野 1,461件 7億2,847万円
主な出捐企業	明治安田生命保険相互会社